



# たまご

発行  
茅野市社会福祉協議会  
ボランティア・市民活動センター  
☎ 73-4431  
<http://www.sharara.or.jp/>

2012年10月1日

## 想いをカクチで表現しよう



## 8/30「おらが自慢」のポスター作り講座



9月30日開催の『ふれ愛フェスティバル』に向けて、効果的に楽しく活動を紹介するためのコツを学びました。それぞれのテーブルでは、みんなでアイデアを出し合いながら写真やチラシなどを使い、人を惹き付ける愛情の詰まったポスターを作ろうと、会場は熱気に包まれていました。

初めのうちは何を書いて良いか迷っていたグループも、活動を振り返ることで、自分達の“自慢”を見つけ、真っ白な模造紙が工夫を凝らした素敵なポスターへと変わっていきました。

作成されたポスターは、今後、社会福祉協議会の事務局やベルビア「どっこいしょ広場」において展示します。ボランティアグループの想いのこもった作品をぜひご覧ください。

# 災害ボランティアセンター 立上・運営訓練を実施しました!!

## 災害ボランティアセンターとは…

主に災害発生時のボランティア活動を効率よく推進するための組織のことを指します。  
近年の台風による風水害や地震災害時には、災害ボランティアの活動が大きな力を発揮し、ボランティア活動が果たす大きな役割の一つとなっています。

「東日本大震災」では、被災地の県や市町村社会福祉協議会で災害ボランティアセンターが設置されました。これまでに、東北 3 県（岩手、宮城、福島）におけるボランティア活動者数は、延べ 106 万 1,900 人にのぼります。

《平成24年7月22日現在 各地の災害ボランティアセンターに登録のうえ、活動に従事した人の数。》



## 立上訓練（ニーズ・地図班）

情報処理の手順を確認します。

## 運営訓練

ボランティアの方々に、  
活動先の留意点等を伝えています。

## 9月1日（土） 於）茅野市役所議会棟

今年の訓練は、実際にボランティア活動者の送り出し、活動、迎え入れといった運営訓練を主体に訓練計画を立て、社協職員とボランティア関係者が一緒に取り組みました。

実際に訓練に参加いただいた方からは、見やすい案内板表示や情報伝達のあり方、記録用紙の記入や取り扱いについて、具体的な意見が多く出され、会場は本番さながらの緊張感が漂い、継続的な訓練の大切さを改めて感じました。



ボランティアは、災害が起きたときにだけ活動するわけではありません。  
今、私たちにできることは、被災地への支援・ボランティアだけでなく、地域防災への取り組みを改めて見直すことではないでしょうか。災害救援だけでなく、平時の予防や訓練、防災意識の啓発など、ボランティア活動には、さまざまな参加のしかたがあります。

ほんの小さなことでも、自分の心に生まれた「思いやり」の気持ちを行動に移してみませんか…。それがボランティア活動への第一歩です。

『私たちのまち ボランティア・市民活動のちから ～運営員会便り～』はお休みします。



# 「被災地の現状を見て・考えよう！」報告

8月6日(月)～8日(水)にかけて、中学生2名、高校生3名、大学生1名を含む16名が宮城県南三陸町などで活動してきました。

「若い世代に被災地を見て欲しい」と呼び掛け、実現したこの企画。東日本大震災から1年4ヶ月が経過した被災地で、感じたことをレポートします。



作業の様子

作業内容がボランティアっぽくなくて、もっと体を動かしたかった。

(中学生 男子)



作業終了後のハウス内

作業が進むにつれて、チームワークが出来上がり、終了と共に小さな達成感を味わうことができました。

(60代 男性)

## 南三陸町防災対策庁舎の見学



報道されていることの事実や、人の運命について考えさせられた

(60代 女性)

今回、社協と農協観光のご協力を受け、被災地での活動が実現しました。参加者は中学生から60歳代までと年齢幅の広いチームとなりました。

夜行バスでの睡眠もそこそこに、午前9時30分に宮城県の南三陸町に到着。作業現場は、7メートルもの津波が押し寄せたハウス内の整備でした。男性がスコップで土を掘り、女性が熊手で石を拾う作業を、蒸し暑い中大汗をかきながら行い、1日かけて2棟のハウスを整備しました。

休息中、現地指導員の方に話していただいた被災体験では、「大切なのは物やお金ではなく、家族と共に過ごす時間。皆さんも家に帰ったら家族の顔を見てください。」と時々声を詰まらせながら話す姿が印象的でした。

皆で石拾いをしたハウスは、9月には農家に貸し出され秋には小松菜などの葉物野菜で緑一面になるそうです。

活動に参加した若者6名は、大人により一層の元気を与えてくれ、とても頼もしい存在でした。

リーダー 斎藤 貴子 さん

復興が進んでいる部分もあったけどまだまだ。感じた事を学校で伝えていきたい。

(大学生 女性)



南三陸町の沿岸部の様子



仙台七夕祭りの飾り

帰りの途中に立ち寄った仙台七夕祭り。全国から復興の願いを込めた飾り付けが沢山ありました。

(30代 男性)



## 情報ネットワーク

### 10月の主な予定

（総合福祉センター使用団体及び市民活動センター事業）

- 第1・3（月） かにさん（收集整理V）
- 第1・3（金） まほうのことは（手話学習V）
- 第2・4（火） 要約筆記ひまわり（要約筆記V）  
星の会（点訳V）
- 第2・4（水） 手話ダンス千の風（手話ダンスV）
- 第2・4（木） どさゆさ（演歌体操V）
- 毎週（金） すずめのお宿（いきいきサロン）
- 毎週（水） わかばフィットネス
- 2日（火） 腹話術友の会
- 3日（水） Jr.リーダーズクラブ
- 4日（木） ボランティア・市民活動センター運営委員会
- 8日（月・祝） 傾聴パートナー「あ・うん」（傾聴V）
- 9日（火） おひさまクラブ  
押花なでしこ会
- 茅野レスキューネット
- 16日（火） 傾聴ボランティア「ひだまり」
- 26日（金） しあわせの喫茶店しやべくる
- 27日（土） 歌の集い（どっこいしよ広場）
- 29日（月） ひざしの会（テーブル吹き込み）



認知症を理解して、傾聴につなげよう！

### ～平成24年度傾聴講座～

- 1 日 時 10月18日（木） 午前10時00分から午後3時00分（受付：9時30分～）
- 2 会 場 茅野市家庭教育センター 2階 会議室
- 3 講 師 NPO 法人 ホールファミリーケア協会 理事長 鈴木絹英 先生
- 4 内 容 「認知症高齢者の傾聴講座」  
10時00分～12時00分：認知症高齢者の理解（講義）  
13時00分～15時00分：認知症高齢者への関わり方（講義&ロールプレイ）ほか
- 5 対象者 傾聴に関心の有る方 認知症家族を支えている方 定 員 40名
- 6 参加費 1,000円（資料代含む） ※お弁当代は含みません。各自でご用意ください。
- 7 申込締切日 10月16日（火）までに電話で申し込みをしてください。
- 8 申込み先 茅野市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター TEL: 73-4431



みんな  
あつまれ

### 秋のスペシャル 茅野子ども福祉教室 ふるさと探検隊！！

わくわく・ドキドキ  
みんなが住んで茅野市を  
ゆっくり探検してみよう！

10月27日（土）9時～12時

対 象：小学生以上大人も OK！  
（小学4年生以下は親子で参加してね）  
参加費：1人 200円  
申込み：090-9354-2102（盛川）  
主 催：VG 四葉（しょう）

※子どもたちの心に福祉の種をまきたいと願い活動しているグループです。



### 緑のカーテンコンテスト を開催します！！



『たまご』5月号で紹介しました『緑のカーテン大作戦inちの』の、コンテストを実施します。

“緑のカーテン”が一番豊かな時期の写真と作品のコメントをそれぞれ A4 判サイズにまとめて、ふるってご応募ください。

応募いただいた作品は、11月5日（月）から9日（金）まで茅野市役所の1階ロビーに展示し、市民の方々より投票をしていただきます。投票で選ばれた優秀作品には、茅野市社会福祉大会（11月28日）において、記念品を贈呈いたします。

応募期間 10月1日（月）から31日（水）まで

応募方法 社協事務局にお越しいだくか、ホームページ  
（<http://sharara.or.jp>）から様式をダウンロード  
してご提出ください。

茅野市社会福祉協議会 ボランティア連絡協議会事務局  
TEL: 73-4431